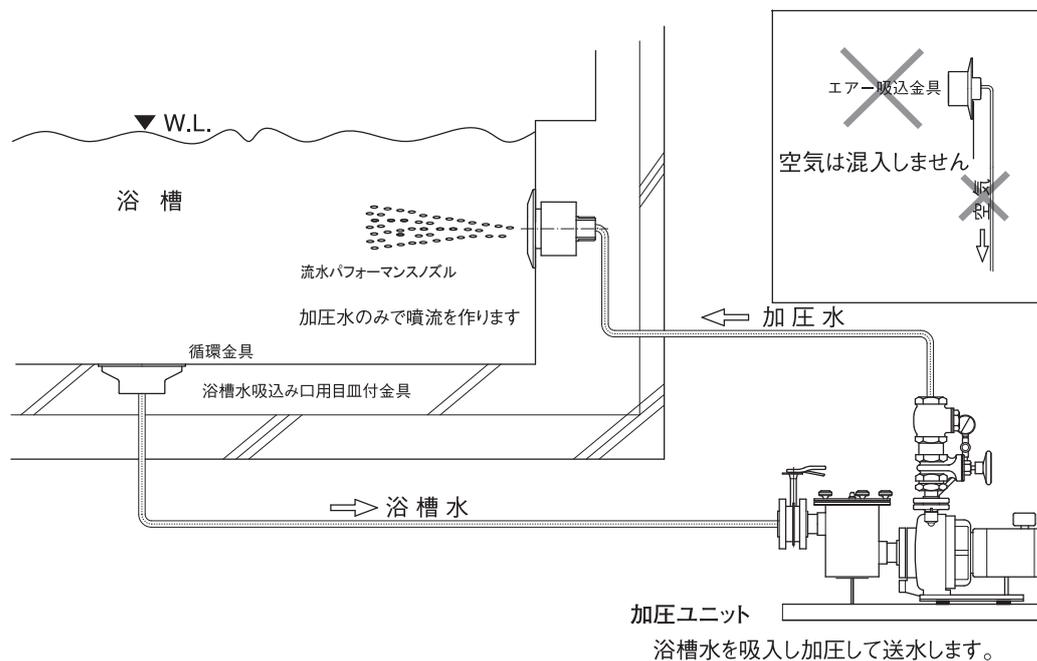


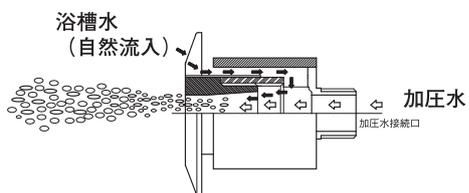


流水パフォーマンスノズル  
施工・解説書

# 流水パフォーマンスノズルの解説

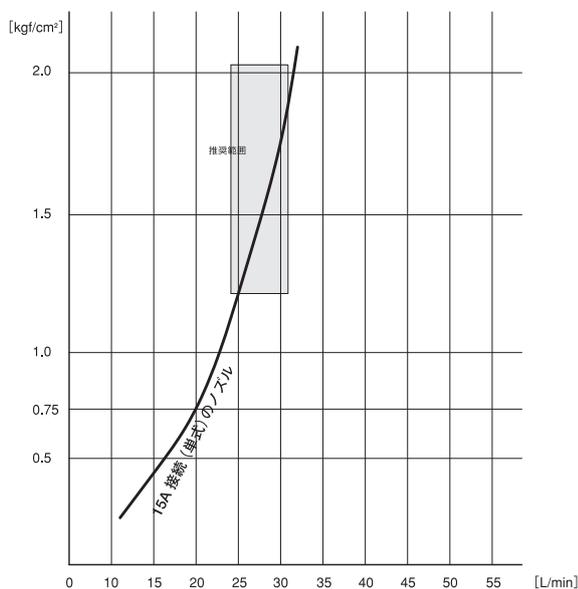


## 流水パフォーマンスノズルの原理



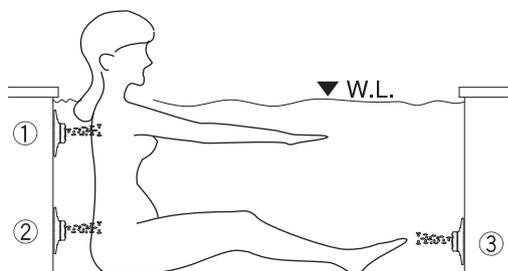
加圧ユニットより送り込まれた浴槽水はノズルの水通路から内部オリフィス部を通過します。水流はオリフィスの作用により加速し、その速度のまま混合室を抜ける為、周囲が負圧状態となります。流水パフォーマンスノズルは、この負圧部を浴槽と連通させる事で送り込まれる加圧浴槽水に、流入する浴槽水を追随させ噴出の水量を約2倍に増水します。

## 流量線図



# 標準施工

## ■流水パフォーマンスノズルの標準取付け高さ

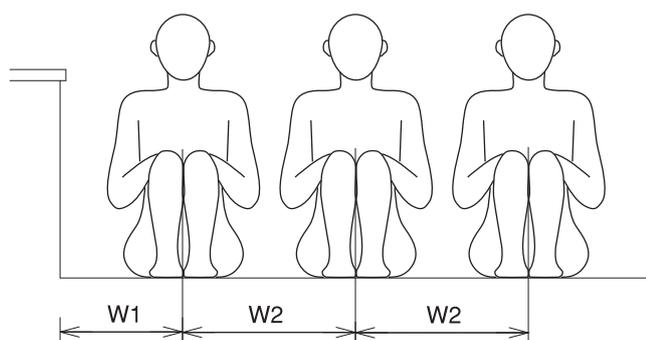


### [標準取付け寸法]

番号	刺激部位	ノズルの取付け高さ
①	肩	浴槽水面- (150±50)
②	背中・腰	浴槽底面+ (250±50)
③	足の裏	浴槽底面+ (150±50)

- 番号①の部位に取付ける場合は事前にエアー配管の納まりを検討下さい。

## ■流水パフォーマンスノズルの標準取付け間隔



### [標準的な取付け間隔]

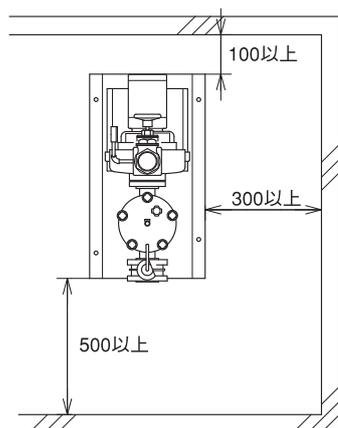
記号	寸法
W1	500以上
W2	800以上

- 流水パフォーマンスノズルの取付け間隔は最小値を示しています。入浴者が不快感を感じない様に配慮して下さい。
- 二連・三連式の場合はそれぞれセンター寸法として下さい。

## ■加圧ユニットの設置場所について

- 加圧ユニットは、屋内設置型です。必ず機械室へ設置して下さい。
- 設置場所の環境に配慮して下さい。高温、多湿の場所は避けて下さい。
- 加圧ユニットの運転音・振動は通常のポンプと同程度ですが、設置場所が客室・ラウンジ等と隣接する場所は、防音や防振の対策を施して下さい。

## ■メンテナンススペース



- メンテナンススペースは左図寸法を確保して下さい。  
(側面寸法は左右いずれかで可)